



FlexPLM SaaS サービス記述書

PTC の FlexPLM SaaS オファリングの使用には、[SaaS 基本契約](#)（以下「本契約」といいます）の諸条件のほか、以下の追加の諸条件が適用されます。以下に定義されていない用語は、本契約で定義されている意味を有します。

許容されるコンフィグレーション

FlexPLM SaaS オファリングは、コンフィグレーション、カスタマイズ及び統合機能をサポートします。カスタマイズ及び統合を行う場合、お客様は、当該カスタマイズ及び統合を展開するための追加的な拡張 SaaS サービス (ESS) 料金を PTC に支払わなければなりません。お客様は、中央認証サーバー (CAS) へのシングルサインオン (SSO) のための設定方法について、PTC に指示を与える責任を負います。[PTC SaaS Engagement Guide](#) には、許可される設定、カスタマイズ及び統合が明記されています。本書に記載されていないコンフィグレーション、カスタマイズ及び統合は許可されません。

バージョンサポート

本サービスには、PTC が本サービスへの適用を決定したニューリリース及び更新リリースのインストールが含まれます。お客様は、ニューリリース／更新リリースとの互換性を確保するため、カスタマイズ及び／又は統合を更新する責任を負うものとします。

PTC は、プラットフォーム全体にわたってサポートされるソフトウェア・リリースをお客様に維持させる権利を有し、また、プラットフォームに対して更新をインストールし、一般的な保守を行う権利を有します。お客様が現在リリースされているバージョンのソフトウェアを使用していない場合、PTC は本サービスを終了するか又は PTC が提供する本サービスの各月について追加料金（月単位で年間契約額の 30% を上限とする）を課すことができるものとします。

SaaS 延長サポートサービス

お客様が PTC によるお客様へのホスティングを希望する場合のカスタマイズについては、別紙 A に定める条件に従って、延長 SaaS サポートサービスを購入することができます。

データのエクスポート

本サービス終了日が了知された後、お客様は、(1) 本サービス終了日に先立って、お客様の新システムへのデータ入力をテストする目的でのエクスポート、(2) 本サービス終了日の最終エクスポートという最大 2 回のデータエクスポートを要求できます。お客様は、当該要求が実行できるように PTC と調整するものとします。データのエクスポートには、現状のソフトウェアコンフィグレーションを別の環境に再展開する上で必要な情報が含まれます。

ただし、お客様は、追加料金を支払うことにより、標準では提供されないデータのエクスポートについて PTC と契約することができます。

PTC は、お客様のデータを最後の抽出時から約 30 日間保持します。この期間を過ぎたデータは破棄されます。この 30 日間の期間中は、アーカイブされたデータの複製 1 つをお客様からの要請に応じて提供できます。

正当な手続きに沿った Windchill データエクスポートの場合、データのエクスポート形式には、データベーススキーマのエクスポート、Directory LDIF のエクスポート又は類似のユーザーリストのエクスポート、Enterprise LDAP LDIF のエクスポート、外部ファイルボールドのコンテンツのうち、該当する項目が含まれます。

バックアップ及び復元

システムの完全バックアップは毎日行われ、地理的に冗長な（Geo 冗長）場所に保管されます。本番システムのバックアップは 30 日間維持され、非本番システムのバックアップは 7 日間保存されます。PTC は、本サービスを通じて削除された個々のファイルを復元することはできませんが、お客様のご要望に応じて、バックアップからシステムの完全な復元を行うことは可能です。

災害復旧

大規模なサービス停止が発生した場合、PTC は影響を受ける顧客と協力して、災害復旧プロトコルを実施すべきかどうかを判断します。必要な場合、本番システムの復旧時点目標 (RPO) は 24 時間、復旧時間目標 (RTO) は 5 日間とします。非本番システムは、すべての本番システムが完全に復旧した後、可能な限り迅速に復元されます。

バッチ

ユーザー数に基づいて使用許諾される契約タイプ（登録ユーザーや同時ユーザーなど。ただしキオスクユーザーを除く）については、本サービス若しくは本サービスに含まれる機能若しくはデータにアクセスし、若しくはこれらを使用し、又は本サービスによって生成された出力物（以下「マテリアル」という）を使用する個人ごとにライセンスが必要です。これは、当該アクセス又は使用が直接的であるか間接的であるかを問わず、例えばウェブポータルを通じたアクセス、又は「バッチ」その他の手段によってマテリアルへの間接的アクセスを実現する場合があります。共通又は共用のログインは、マテリアルへのアクセス又は使用に関する使用許諾基準を回避又は違反する結果となる場合、認められないものとします。例えば、本サービスが登録ユーザー基準で使用許諾されており、登録ユーザーが登録ユーザーではない人物とパスワードを共有した場合、これは登録ユーザーライセンスモデルに違反するため、許可されません。同様に、お客様は、適切なライセンスを持つ自然人（人間）であるユーザーによって開始されるタスクを自動化する目的に限り、汎用のサービス用アカウントを作成することができますが、ライセンスを保有していないユーザーのためにタスクを実行する目的で作成することはできないものとします。

上記の一般性を制限することなく、お客様が Windchill API Access を購入していない限り、お客様は、本サービスのアプリケーションプログラムインタフェースに（直接的か間接的かを問わず、お客様又は第三者が作成したアプリケーションを介する場合を含む）アクセスし、又は使用して、人工知能（AI）モデルのトレーニング、微調整、作成を目的として本サービスからデータを抽出したり、RAG（Retrieval-Augmented Generation）などの別のデータソースを構築したりすることは明示的に禁止されます。お客様が Windchill API Access を購入した場合、本サービスで提供されている機能と類似した機能を持つ当該 AI モデル又はデータソース（及びそれらから生成された集計データや派生データ）を活用又は使用するアプリケーションのすべてのユーザー（又は当該アプリケーションにアクセスできる者）は、(i)当該アクセス又は使用が直

接的か間接的かを問わず、本サービスに関する個別のユーザーライセンスを取得する必要があります。また、(ii) 本サービスの PTC がサポートする API のみを使用する必要があります。お客様は、本サービスの構造、配列及び構成は PTC の専有情報であり、著作権によって保護されていることを認め、お客様は、これらを複製してはならないものとします。明確にするために付記すると、本項に違反するいかなる行為も、許諾製品に対するライセンスの違反とみなされます。

セキュリティ及びデータプライバシー

本サービスのセキュリティプログラムに関する情報は、[PTC トラストセンター](#)に掲載されています。

本サービスの一部として収集されるデータに関する情報は、<https://www.ptc.com/en/documents/policies>にあります。

FlexPLM SaaS

はじめに

このオフリングは、FlexPLM SaaS へのアクセスをお客様に提供するものです。

オフリングに関する基本事項

- FlexPLM ソリューションの使用権
- 使用権には、単一のお客様固有のクラスタ化された本番環境と単一の非本番インスタンスも含まれます。
- FlexPLM SaaS は、マンスリーアクティブユーザー単位での契約となります。これは、特定の月にサービスにアクセスする個々のユーザーの数を意味します。
- 購入可能な登録ユーザーのプロファイルの種類として、FlexPLM SaaS ユーザー及び FlexPLM SaaS 外部ユーザーが定義されています。各プロファイルでは、当該プロファイルによって使用権が付与される機能に対してのみ、割り当てられているユーザーにアクセス権が付与されます。お客様は、認定済みのユーザーを FlexPLM 本番環境のライセンスプロファイルに割り当てる必要があります。ユーザーを適切なライセンスプロファイルに指定しない場合、超過料金が生じる可能性があります。ユーザーのライセンスプロファイルを別のプロファイルへと遡及的に変更することはできません。
- お客様が本サービスと共に第三者 CAD ソフトウェアを使用する場合、中立フォーマットのビューアブルを生成するために、PTC が本サービスと共に当該第三者ソフトウェアをインストールし実行する必要があります。この場合、PTC がお客様のために当該第三者ソフトウェアをインストールし実行するために、お客様は、本サービスと同時に実行される第三者 CAD ソフトウェアが当該ソフトウェアのお客様のライセンスファイルにアクセスできるように、お客様のライセンスサーバーへの VPN アクセスを PTC に提供する必要があります。お客様は、PTC が当該第三者 CAD ソフトウェアを本サービスと並行してホスティングすることについて第三者 CAD ベンダーから承認を得るものとし、PTC が当該アプリケーションを本サービスと並行して展開するために必要なすべてのインストールメディア及びファイルを提供するものとします。Creo 及びその他の CAD アプリケーションについて、お客様は、パブリッシングが必要なユーザー数及び環境に基づいて、当該 CAD アプリケーションごとにパブリッシング容量を購入する必要があります。
- お客様は、FlexPLM の SaaS 外部ユーザー（別名「供給業者」）プロファイルを、お客様及びお客様の関連会社にとっての外部業者である、納入業者、第三者企業、その他の外部のユーザー（以下「外部

ユーザー」) に対してのみ割り当てることができます。外部ユーザーのライセンスは、追加のライセンス料を支払うことなく別の外部ユーザーに再度割り当てることができますが、1つの外部ユーザーライセンスを、1つの暦月中に複数の外部ユーザーが使用することはできません。

- FlexPLM SaaS ユーザー及び FlexPLM SaaS 外部ユーザーには、一定の役割ベースでの ThingWorx ベースのアプリケーションの使用権も付与されます。これらのアプリケーションは、以下の目的に限り使用できます。
 - PTC により販売され、役割ベースのアプリケーションのバンドルコンポーネントを通じて提供されているソリューションからの情報を閲覧、出力、作成、及び／又は更新するためにアプリケーションを実行すること
 - 役割ベースのアプリケーションに適用される FlexPLM データにアクセスする目的及び役割ベースのアプリケーションに必要な詳細情報を設定する目的でのみ、付属の ThingWorx アプリケーションを利用すること
- PTC は、ESS と同様に PTC がホスティングすることについて見積書／製品スケジュールで具体的に合意されない限り、カスタマイゼーション又はカスタムアプリケーションをお客様用にホスティングする義務を負いません。
- お客様が PTC によるカスタムコードのホスティングを希望する場合、お客様はその要件を PTC に通知するものとし、PTC はそのようなカスタマイズが ESS としてホスティングできるかどうかを確認するものとします。お客様は、ハイレベルの要件を含む関連文書を提出し、審査プロセスにおいて PTC と設計について協議するものとします。承認された場合、お客様はロールアウト時に、当該カスタマイズの保守／管理／トラブルシューティングをサポートするために利用可能な機能を含む、詳細な文書を提出するものとします。
- 「第三者統合」とは、第三者が開発した PTC のアプリケーションと通信するためのコードです。PTC は、PTC がホスティングしていないアプリケーションを統合したことに関連して生じる接続性の問題又はダウンタイムについて、責任を負いません。
- お客様は、ID 及びアクセス管理の統合とシングルサインオン (SSO) 体験を、使用を許諾したユーザーに提供し、提供される PingFederate 又は同様のサービスを中央認証サーバー (CAS) として構成するための関連構成データを共有する責任を負います。お客様は、SSO の有効化に関連する構成、テスト、検証、及びデバッグ活動を支援します。
- FlexPLM は PTC の Windchill PLM の上に構築されています。FlexPLM データをサポートしない基礎となる Windchill 機能へのアクセス及び使用は、FlexPLM SaaS ユーザーライセンス及び FlexPLM SaaS 外部ユーザーライセンスの権利から除外されます。
- <https://www.ptc.com/en/support/cloud-engagement-guide> にある PTC SaaS Engagement Guide には、許可されるコンフィグレーション、カスタマイズ及び統合のみが明記されています。

データストレージの権利

データストレージ: お客様は、すべてのインスタンス (すなわち、本番用及び非本番用インスタンス) をカバーするために十分な量の Vault ストレージ容量を購入する必要があります。

追加ストレージ: お客様は、データ移行及び／又はシステム統合のために、追加のストレージ容量を購入する必要があります。

許容される有償アドオン

FlexPLM SaaS に関して定義されている許容されるコンフィグレーションの条項に加え、以下の条項も適用されます。

カテゴリ	機能
カスタマイゼーション、統合、及びオフアリング拡張（追加料金の適用対象）	本番環境においてサポートされる設定の範囲を超えたカスタマイゼーションが許容されるには、料金を別途お支払いいただく必要があります。PTC は、別途購入されない限り、お客様の代理としてカスタマイゼーション又は統合を開発又はメンテナンスすることはありません。詳細については、Extended SaaS Service (ESS) に関する条項を参照してください。 お客様は、保護対象の本番環境にカスタマイゼーション及び統合を適用するために使用できる妥当性確認済みのコードパッケージについて文書化し、PTC に当該のコードを提供する責任を負います。 FlexPLM SaaS には、以下のアドオンオプションが適用されます。 - 追加ストレージ - Adobe Illustrator Design Integration - リモートファイルボールド（レプリカ）に使用される追加的な PTC ホスティングロケーション - 追加的な Windchill FlexPLM の非本番環境 - マネージド VPN 接続、保存時の暗号化、sFTP サーバー、ボールドストレージキャパシティ、IP ホワイトリストなど、インフラストラクチャ及びネットワーキングに使用される追加的なサービス 3D BrowzWear Adapter& 3D BrowzWear Plug-in - FlexPLM 3D Optimization Services - データを共有するためのシステム統合向け FlexConnect - ダッシュボードとレポート作成のための FlexInsights 及び FlexInsights Pro - アプリケーションの既存のカスタマイゼーション及び統合の管理（上記の制限事項を適用）。特に規定のない限り、バグ修正又は拡張機能は含まれません。

FlexPLM AI

FlexPLM AI は、Viewer、Contributor、Author ライセンスを含む FlexPLM の基本ライセンスのアドオンとして、また PTC がお客様のためにホスティングする SaaS ソリューション（「FlexPLM AI SaaS」）として利用することができます。

FlexPLM AI オファリングは、登録ユーザー基準で契約され、登録ユーザー数及び契約年度中にお客様が消費する AI クレジット数に基づく消費制限の両方によって制限されます。

FlexPLM AI へのアクセスは、FlexPLM 内で登録ユーザーを指定された FlexPLM AI の権限グループに割り当てることにより有効化されます。お客様は、購入した FlexPLM AI ライセンスに対応する数の登録ユーザー数のみをこの権限グループに含めることができます。例えば、お客様が 100 の FlexPLM ライセンスと 50 の FlexPLM AI ライセンスを保有している場合、FlexPLM AI 権限グループに追加できるユーザー数は 50 名を

超えてはならないものとします。ライセンス数を超えるユーザーを割り当てるには、追加の FlexPLM AI 登録ユーザーライセンスを購入する必要があります。

FlexPLM AI の使用には、AI クレジットの消費も適用されます。「AI クレジット」とは、FlexPLM AI を使用してお客様が一定数のアクションを実行するための利用枠を意味し、各アクションには、操作の複雑さや関与するデータ量に基づいて、一定数の AI クレジットが消費されます。各登録ユーザーに対し、契約年度ごとに 12,000AI クレジットが付与されます。特定の登録ユーザーに割り当てられた AI クレジットは、お客様の年間 AI クレジット総付与枠を超過しない限り、他の登録ユーザーが消費することもできます。未使用の AI クレジットは、各契約年度末に失効し、翌契約年度へ繰り越されることはありません。お客様の年間付与枠を超える AI クレジットを消費する場合は、その超過分をカバーするために追加の AI クレジットを購入する必要があります。

Flex Insights 及び Flex Insights Pro

はじめに

このオフリングは、Flex Insights 又は Flex Insights Pro SaaS 環境をお客様に提供するものです。これには FlexPLM SaaS 環境への接続が含まれています。

ソリューションのスコープ

Flex Insights 及び Flex Insights Pro には、以下の使用権が含まれています。

- Retail IoT ADK 基本ソリューションの使用権
- 使用権には、単一のお客様固有のクラスタ化された本番環境及び単一の非本番インスタンスも含まれます。
- Flex Insights には、PTC の Thingworx ソフトウェアと該当するコンフィグレーションで開発された特定のダッシュボードが含まれています。これらは、Panorama、Critical Path Management、及び Compliance Tracking です。
- Flex Insights Pro には、PTC の Thingworx ソフトウェアと該当するコンフィグレーションで開発された特定のダッシュボードが含まれています。これらは、Panorama、Critical Path Management、Compliance Tracking、及び Visual Line Planning and Sustainability です。
- 単一の Flex Insights 又は Flex Insights Pro 環境と FlexPLM SaaS FlexPLM 環境との統合

オフリングに関する基本事項

- Flex Insights 及び Flex Insights Pro は、マンスリーアクティブユーザー単位での契約となります。
- Flex Insights 及び Flex Insights Pro のユーザーごとに、FlexPLM のユーザーライセンスも必要です。
- Flex Insights 及び Flex Insights Pro 環境は、デバイス（接続された製品、ウェアラブル機器、生産機械、及び物理資産を含みますが、これらに限定されません）及びデバイスの接続先となるエッジサーバー又はサービスからデータにアクセスするために使用することはできません。
- Flex Insights 及び Flex Insights Pro 環境は、お客様の社内生産施設又はお客様の供給業者の生産施設に属する製造システム、プロセス、及び／又は作業設備に接続するために使用することはできません。

Retail IoT ADK

はじめに

このオフアリングは、SaaS Retail IoT ADK 環境をお客様に提供するものです。FlexPLM SaaS 環境への接続が含まれています。

ソリューションのスコープ

Retail IoT ADK SaaS は、FlexPLM SaaS の拡張として入手できます。Retail IoT ADK SaaS には、以下の使用権が標準で含まれています。

- Retail IoT ADK 基本ソリューションの使用権
- 使用権には、単一のお客様固有のクラスタ化された本番環境及び単一の非本番インスタンスも含まれます。
- 単一の Retail IoT ADK 環境と FlexPLM SaaS 環境との統合

オフアリングに関する基本事項

- Retail IoT ADK は、マンスリーアクティブユーザー単位での契約となります。
- Retail IoT ADK のユーザーごとに、Windchill FlexPLM のユーザーライセンス（外部 SaaS 又は登録ユーザー）も必要です。
- PTC の FlexPLM オフアリング及びその他のエンタープライズシステム（Oracle ERP、SAP、CRM のシステムなど）への接続にのみ使用できます。デバイス（接続されるオフアリング、ウェアラブル機器、生産機械、及び物理資産を含みますが、これらに限定されません）及びデバイスの接続先となるエッジサーバー又はサービスからのデータアクセスには使用できません。
- また、お客様の社内生産施設又はお客様の供給業者の生産施設に属する、製造システム、プロセス、及び／又は作業設備への接続にも使用できません。

Adobe Illustrator Design Integration

はじめに

このオフアリングは、（ユーザーのコンピューター上の）ローカル環境にインストールされた Adobe Illustrator Design Integration を通じて、ユーザーのデスクトップにインストールされている Adobe Illustrator から Flex PLM Server への接続することを可能にします。それにより、Adobe Illustrator で作成したデータを FlexPLM SaaS インスタンスに直接パブリッシュできます。

ソリューションのスコープ

FlexPLM SaaS へのアドオンパッケージとして入手可能な Adobe Illustrator (AI) アダプタには、以下が含まれています。

- Adobe Illustrator Design Integration Option（Adobe Illustrator Design Integration のユーザーごとに 1 ライセンス）

オフアリングに関する基本事項

- Adobe Illustrator Design Integration は、統合機能が必要となる各 FlexPLM SaaS ユーザーのための、ユーザーごとに必要なライセンスです。
- Adobe Illustrator Design Integration ソリューションの使用権
- Adobe Illustrator Design Integration ユーザーも、FlexPLM SaaS ユーザーである必要があります。
- お客様は、https://support.ptc.com/appserver/wcms/standards/freefull_cs.jsp?im_dbkey=175079 に掲載されているサポートマトリックスのとおり、お客様のユーザーの環境において、互換性のある Adobe Illustrator を展開し、維持（アップグレードを含む）する必要があります。

3D BrowzWear アダプタ及び 3D BrowzWear プラグイン

はじめに

このオフリングは、お客様がお持ちの BrowzWear アプリケーション（VStitcher 又は Lotta）からローカル環境にインストールされた 3D BrowzWear プラグインを通じて FlexPLM SaaS システムと連携することを可能にします。BrowzWear アプリケーションで作成したデータは、FlexPLM システムに保存できます。

ソリューションのスコープ

FlexPLM SaaS へのアドオンパッケージとして入手可能な BrowzWear 3D サーバーアダプタには、以下が含まれています。

- BrowzWear's VStitcher 又は Lotta のための 3D BrowzWear プラグイン（3D BrowzWear の統合のユーザーごとに 1 ライセンス）
- FlexPLM SaaS 環境のアドオンとして利用可能な単一の 3D BrowzWear アダプタ
- SaaS FlexPLM システムの各々追加的な非本番インスタンスに導入される BrowzWear 3D サーバーアダプタ
- BrowzWear's VStitcher 及び Lotta をサポートしているバージョンは、<https://www.ptc.com/en/support/release-advisor> に掲載されている Flex PLM のソフトウェアバージョンに適用されるサポートマトリックスに記載されています。

オフリングに関する基本事項

- ユーザーのコンピュータに展開される 3D BrowzWear アダプタソフトウェアの使用権、及びお客様固有の FlexPLM 環境におけるサーバーソフトウェアコンポーネントの展開と構成
- 3D Browzwear プラグインは、既存の FlexPLM SaaS 又はマネージド環境へのアドオンとしてのみ、単体（ユーザーライセンスごと）で販売されます。
- 3D Browzwear プラグインのユーザーも、FlexPLM SaaS ユーザーである必要があります。
- お客様は、<https://www.ptc.com/en/support/release-advisor> に掲載されているサポートマトリックスのとおり、お客様のユーザーの環境において互換性のある Browzwear's VStitcher 又は Lotta を展開し、維持（アップグレードを含み）する必要があります。
- PTC SaaS は、お客様の使用状況を四半期ごとに監査します。お客様は、実際の使用状況に基づいて、追加のユーザーライセンスを購入する必要があります。

FlexConnect SaaS

はじめに

このオファリングは、FlexConnect SaaS 環境をお客様に提供するものです。外部システムとの統合機能を備えた FlexPLM SaaS 環境との接続が含まれます。各環境への接続を可能にするには、追加のコネクタライセンスを購入する必要があります。

ソリューションのスコープ

FlexConnectSaaS には、標準で以下の使用権が含まれています。

- FlexConnect ソリューションの使用権
- 使用権には、単一のお客様固有の本番環境と単一の非本番インスタンスも含まれます。
- 単一の本番インスタンス及び単一の非本番インスタンス
- 単一の FlexConnect と単一の FlexPLM SaaS との統合
- FlexConnect 環境は、デバイス（接続された製品、ウェアラブル機器、生産機械、及び物理資産を含みますが、これらに限定されません）及びデバイスの接続先となるエッジサーバー又はサービスからデータにアクセスするために使用することはできません。
- また、お客様の社内生産施設又はお客様の供給業者の生産施設に属する製造システム、プロセス、及び／又は作業設備に接続するために使用することはできません。

オファリングに関する基本事項

- FlexConnect SaaS は、別途注記のない限り 1 年単位での契約となります。
- ベース（SAS-2253-F-）及び PTC システム以外へのシステムごとの接続（SAS-2254-F-）の 2 つのサブスクリプションが必要です。

ソリューションのサービスモデル

お客様は、TRC カスタムアプリケーションを定義する際、PTC SaaS のセキュリティポリシー及びソリューション使用ガイドラインを遵守しなければなりません。

FlexPLM 3D Collaboration

はじめに

このオファリングは、.GLB 形式の 3D ファイルを最適化するための SaaS 統合と、それらの 3D ファイルを表示するための 3D ビューアをお客様に提供します。これには、アップロードされた 3D ファイルを確認、最適化、2D ビジュアルを生成するために 3D ファイル（.GLB 形式）を第三者サービスと共有することが含まれます。最適化された 3D ファイル（.GLB 形式）は、FlexPLM での保存、レビュー及びアクセスのために第三者サービスから取得されます。

ソリューションのスコープ

PTC 3D Optimization SaaS は、必須サービスとオプションサービスを個別に購入できるオプションサービスパッケージとして提供されます。このソリューションには、ソフトウェア使用権の選択肢が含まれています。また、PTC SaaS FlexPLM サービスへの拡張として販売されます。

PTC 3D Optimization SaaS には、標準で以下の使用権が含まれています。

- PTC 3D Optimization SaaS Service の使用権
- FlexPLMSaaS 環境及び第三者 3D Optimization Service
- 管理者資格及第三者 3D Optimization Service Dashboard へのアクセス権

オフファリングに関する基本事項

PTC 3D Optimization SaaS は、別途注記のない限り 1 年単位での契約となります。

ソリューションのサービスモデル

- PTC 3D Optimization SaaS は、既存の FlexPLM SaaS 環境のアドオンとしてのみ販売されます。
- PTC 3D Optimization SaaS アドオンが有効になっている場合、Windchill FlexPLM ユーザーのための、ユーザーごとのライセンスが必要です。
- BrowzWear で作成されたコンテンツは、SD Optimization を始動させるために 3D Plugin を使用する必要があります。

別紙 A 拡張 SaaS サポートサービス条件

はじめに

ESS サービスは、本サービスと連携するお客様のカスタマイゼーション及びカスタム開発された統合（以下、総称して「カスタマイゼーション」）の展開 (deployment) を提供するものです。これらのカスタマイゼーションの妥当性確認、修正、拡張、又は修復は ESS には含まれません。

ソリューションの範囲

ESS の構成要素として、PTC は以下を提供します。

- アプリケーションのカスタマイゼーションのインストール
- カスタマイゼーションがインストールされていることの検証

ESS では、ビジネスユースケースの検証又は機能固有の検証は提供されません。また、カスタマイゼーションのトラブルシューティング又はデバッグは含まれません。PTC は、カスタマイゼーションに関連し、又はそれによって生ずる接続の問題又はダウンタイムについても責任を負いません。

オフファリングに関する基本事項

- ESS については、カスタマイゼーションごとの契約となります。
- PTC は、カスタマイゼーションを拒否する権利を留保します。PTC は、カスタマイゼーションを拒否する場合、お客様のアップデートリリースの提供を可能にするため、お客様に理由を通知します。
- 以下の事項は ESS の構成要素に含まれないことに注意してください。
 - 問題の解決、又は新機能の導入に必要なコード変更
 - アップグレード又はメンテナンスリリース、又は標準サービスによる拡張機能を適用した後の、カスタマイゼーションの変更
 - データの修正

- カスタマイゼーションの開発又はコンサルティング
 - カスタマイゼーションのモニタリング
 - PTC のホスティングするアプリケーション内に展開されないカスタマイゼーションに対するサービス
- お客様がカスタマイゼーションを更新した後、PTC は、更新の内容が既存のカスタマイゼーションに関する合意済みのスコープに収まっていることを確認するため、カスタマイゼーションを審査する権利を留保します。当初に合意されたベースラインの範囲を超えてカスタマイゼーションが拡張されている場合、PTC は、拡張された範囲に相当する追加的な ESS 料金を請求できるものとします。
 - PTC オファリングをアップグレードする場合、アップグレードするプロセスの進行中に問題が発見されたときは、お客様は、既存のカスタマイゼーションをアップグレードする責任を負います。
 - 実現可能な場合、お客様は、サービス調査中及びパフォーマンス中にカスタマイゼーションを簡単に無効にできるよう、「キルスイッチ」を組み込む必要があります。

ソリューションサービスのモデル

ESS を利用するには、カスタマイゼーションごとに以下の構成要素の提供が必要です。

- ソースコード
- すべてのユースケースを対象とするテストプラン、テストケース、及びテスト結果
- お客様は、かかるカスタマイゼーションの保守／管理／トラブルシューティングをサポートするために利用可能な機能を含む詳細な文書を提供するものとします。

PTC は、セキュリティ上及びパフォーマンス上の問題点がないかどうか、ドキュメンテーション及びソースコードを分析します。PTC は、ソリューション、運用、又はセキュリティに関して、パフォーマンス、メンテナンス性、及び持続可能性の面でカスタマイゼーションがリスクになると考えられる場合、カスタマイゼーションを拒否できるものとします。